

議 事 要 旨

内 容	第 3 回福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会
実施日時	令和 6 年 12 月 24 日（火）13:30-15:30
場 所	福知山市厚生会館 中会議室
参 加 者	委員 足立直敬、菊田学美、四方正道、谷垣修身、谷垣均、中村豪文、 淵上紫乃、前田竹司、牧野新子、夜久豊基 アドバイザー 生田創 事務局（福知山市） 森田、井上、岩木、山本、梅原、和久
使用資料	・第 2 回福知山市新文化ホールについて考える市民懇談会開催結果報告・規模について ・第 2 回福知山市新文化ホールについて考える市民懇談会（抜粋版） ・第 2 回福知山市新文化ホールについて考える市民懇談会 参加者意見一覧 ・候補地の評価比較検討表（福知山市新文化ホール基本計画より抜粋） ・建設候補地の検討（第 6 回福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会資料より抜粋）

◆主な検討結果

（１）新文化ホールの規模について

再検討委員会としては、「1000 席程度（800-1200 席）」という幅を持った規模で検討を進める。

（２）新文化ホールの候補地について

≪ 候補地に求める条件 ≫

- ・歴史や文化の面で福知山らしさが伝わる場所 ・公共交通機関のアクセスが良い場所
- ・福知山の産業などの地域活性化に繋がる場所 ・マイカーで行きやすい場所
- ・高校生・大学生が自転車でも来ることができる場所 ・若い方が多く使える場所

≪ 条件を踏まえた意見 ≫

厚生会館、厚生会館＋敷地拡張、駅前、駅北口公園※ロータリー含む（複合施設、市役所・テナント・マンション等）、駅周辺、市街地、市民庭球場、御霊公園、駅南にある駅と金融機関の間の駐車場、駅北のホームセンターがある土地、市役所

議論の要旨

1. 開会

- ・ （事務局）今から、第3回福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会を始める。
- ・ （委員長）3回検討委員会については、新文化ホールの規模について一定の方向性を示し、候補地についてもご意見をいただき意見交換を行う場としたい。
- ・ （事務局）本日は、「新文化ホールに求められる規模について」「新文化ホールの候補地（案）について」を議題とさせていただきます。新文化ホールは、文化振興を推進する拠点として、次世代を担う子どもたちをはじめ市民の夢や希望の実現をめざしている。新文化ホールが、鑑賞・体験・創造活動の場となるよう、良質な文化芸術の鑑賞から、気軽に参加できるワークショップ、市民が舞台にたつ作品づくりなど、文化芸術に触れる様々な機会を提供するため、環境を整え、福知山市の文化振興を推進するために現在再検討を行っている。この基本理念、考えから規模・場所・候補地案について御意見をお願いしたい。

2. 新文化ホールに求められる規模について

- －第2回市民懇談会の開催概要についての説明－
- －施設規模に応じた費用の比較についての説明－
- －第2回再検討委員会でいただいた意見についての説明－
- ・ （委員長）市民懇談会でいただいた意見では、500-1000席、1001-1500席の規模が望まれているという結果であったが、少し幅を持ってご意見をいただいている部分もあり、本日の規模検討では、更なる絞り込みなどを想定する。委員長提案ではあるが、「市民懇談会の意見」「これまでの説明資料」「委員の皆様方のご意見」なども踏まえ、500～700席、800～1200席、1300～1700席の3つに分けて、方向性を絞りこみたいと考えるがいかがか。
- ・ （委員E）市民懇談会でいただいている意見を確認すると1000席以上を要望している意見も一定数ある状況の中で、その意見を委員長のご提案で整理すると、800～1200席に該当するが、この分け方でも800席なのか1000席以上なのかで大きく変わると感じるが、その部分はどのように考えているのか。
- ・ （委員長）仰る通りの部分はある。一方で、再検討委員会では一定の方向性を提言し、最終の判断は市民に選ばれた市長や議員などを含む行政にて検討することになる。再検討委員会における方向性の提言にあたっては、一定範囲の括りの中で議論していく形になると考える。そのため、この3つの分け方を提案している。
- ・ （委員G）過去のアンケートで「このように使ってほしい」との意見を確認している。有名人の招致や市民の活躍の場などの市民が求めているものを踏まえて整理しないと、規模を検討することは難しいと考える。独自性で勝負するのか人数で勝負するのかクオリティで勝負するのかによって考え方が異なると考える。
- ・ （委員J）私も同意見である。どのような使い方でどの規模が良いかなどを整理しないと規模は出せないのではないかと。規模と使い方は一体的な検討であると考えている。

- ・（委員 A）新文化ホールは、鑑賞・体験などを基本構想で整理している。その目的を踏まえた上で、一部アバウトになるが一定の幅を持った規模の方向性を再検討委員会の中で議論して次を進めていくべきではないかと考えている。場所や設備などの話は次に出てくるものとする。
- ・（委員 J）1000 席以下で、多目的のスペースなどを活用して 2000 席まで拡張できるような案もあるが、その場合、どこに分類したら良いかわからない。
- ・（事務局）前回お示したマンガラートを振り返っていただくと、プロや市民によるコンサート等の鑑賞や体験などが求められていることを把握している。その中で、お客さんのキャパシティやステージに見合う席数などの話も多く出ていたため、今回は一定の幅の中ではあるが、規模を整理していきたいと考えている。それらも踏まえつつ考えると、座席数のイメージでご意見をいただき、スタンディングでの拡張等のご意見の部分は機能として整理いただく形で検討していけると考える。
- ・（委員 G）人口動態も重要になるのではないのか。人口減少の状況で考えると福知山規模では大規模な席数での検討は厳しいように感じる。地元も楽しめる発表会もできるという部分を踏まえると 600 席などの規模感も市民の意見としてはあると思う。1000 席などの規模が多いか少ないかなどの議論も重要と考える。
- ・（委員 C）基本理念は変わらないと考える。誰もが使うという平等性、鑑賞・体験に加え、次代を担う子供たちのために鑑賞・体験してもらうなどの基本理念に沿った検討が重要と考える。
- ・（委員 E）立地によっても規模が変わるので、立地から検討するのはいかがか。
- ・（事務局）規模も立地も多くの意見をいただいている。立地の考え方では、規模が関係する話も多く出てくる。例えば基本計画の厚生会館用地に建設する場合、手狭ではないかなどの意見も出ていた。これまでの市民懇談会ではニーズやそれに見合う規模感に関するご意見をいただいていた段階である。再検討委員会ではこれらの内容も踏まえて、規模感についてのご意見をいただけるとありがたいと考える。
- ・（委員 F）規模によっても立地が変わるので、一定の方向性を示す意味でも、一定の範囲での規模から検討できればと思う。
- ・（委員 H）規模によって舞台の作りが変わるので、規模は大切と考える。1499 席と 1500 席では舞台の作りが変わるケースもある。そう考えると規模感などの幅を持たせる検討ではなく 1000 席などの具体的な規模を整理していきたいと考えている。
- ・（事務局）詳細のご意見をいただける場合は、具体的な数字を含むご意見をいただければ問題ないとする。事務局としては 3 つの区分けでの規模感をまずは整理していきたいと考えている。
- ・（委員長）精緻な数値を出すのは厳しい方もいるので、幅も含めてご意見いただければと考える。「回答が難しい」などの場合はその意見も重要になるので、その意見をいただければよいとする。これまでの議論も踏まえ、順番にご意見をいただきたい。
- ・（委員 J）1F 可動席 700 席、2F 固定席 300 席、平土間でのスタンディング含めて全体で 2000 人収容を想定している。
- ・（委員 H）1500 席以上を求めている。その程度の規模がないとよいホールを作るのは難しいと考えている。

- ・（委員 G）市民が求めるのは文化価値が高いもので、外から来たいものだと考えている。加えて持続可能という視点も重要になる。当初は 600 席が良いと考えていたが、市民懇談会の意見も踏まえ、規模を大きくし、800 席が良いと考えている。
- ・（委員 F）1000 席程度が良いと考える。市民交流プラザと重ならない規模として 1000 席程度を基準に考えるのが良いと思う。
- ・（委員 B）判断が難しい。3 つの区分けで、それぞれの規模でできることやできないことなども見えてくると検討しやすいが、現状では、いろいろな夢が膨らむ部分はあるが、意見を出すことは難しい。
- ・（委員 C）中丹文化会館で 700 人規模の演奏会を開催し、良いものになったと考えている。鑑賞だけでなく、使っていただける、体験していただける次世代の子供たちが学べるホールとすることが重要で、規模が大きすぎない 800-1000 席規模が良いと考える。
- ・（委員 D）800-1200 席規模が良いと考える。元々は 600 席などを考えていたが、これまでの議論や市民懇談会での意見なども踏まえると、お金の心配はあるものの、ある程度の規模を求められていることも感じたので、この規模が良いと考える。ただ、費用感も重要になると考える。50 億円という金額規模で反対の声が出ていた部分もあったと思うので、この規模の中で費用面についてもしっかり検討していくことが重要と考えている。
- ・（委員 E）最低 1000 席で、平土間で可動席やスタンディングも含めて 2000 人が収容できるようにすることが良いと考える。固定にしてしまうと、利用用途が限られるので可動にして多目的の利用が可能となり、収益も得やすくなると考える。加えて、市の直営ではなく PFI などの方式で考えた場合に一定の規模以上にしないと民間事業者も出てこない可能性もあると考えており、1000 席は必要と考える。
- ・（委員 I）市民懇談会で得られた結果を確認すると、500-1000 席を選択した方も 1000 席に近い規模感を想定しているように感じる。また 1001 席-1500 席という意見が最も多いということもあり、800-1200 席程度が最も近い規模感と考える。これらをベースに費用や立地、機能などを整理していければと考えている。
- ・（生田アドバイザー）長久手市は、現在人口 6 万人で建設時は人口 3.6 万人だった。ホールは 400-800 席という可変性を持たせたもので、もう一つの小さいホールが 200-300 席という規模。現在は、人口増加もありホールの稼働率は約 90%を超えている。やはりホールの運営はお金がかかるため、長久手市文化の家も転換期に来ていると感じている。そこで市民のホールへの関わり方は大切と考える。有名な人が来た際の鑑賞や自分が舞台上に立った体験など様々な関わり方があり、それぞれの思い出になっていると感じている。そこで重要なのは、大規模修繕などのタイミングである 30 年後にこのホールがどうなっているか、このホールが愛されているかなどは重要と考える。
- ・（委員長）本日いただいた意見を踏まえて、委員会として方向性を統一していきたいと考える。機能や立地については、その後に検討していく形にしたい。では、規模について挙手をお願いする。
- ・委員による挙手：500-700 席（0）/800-1200 席（8）/1300-1700 席（2）
- ・（委員長）色々な視点で真剣に議論していただいたが、再検討委員会としては、800-1200 席という幅を持った規模の中で、今後は検討を進めていきたいと考える。

3. 新文化ホールの候補地案について

ー候補地案について説明ー

- ・（委員長）基本計画策定時の候補地を検討した際に使用した資料を事務局からお配りしている。この6つの他に検討すべき候補地があれば、そのご意見をいただきたい。
- ・（委員G）歴史や文化の面で福知山らしさが伝わる場所・公共交通機関のアクセスが良い場所・マイカーで行きやすい場所・福知山の産業などの地域活性化に繋がる場所などが大事だと思う。厚生会館の場所は、駅から街の中を歩いていただけるという良さがあ、街づくりの観点も含めた活用がなされてきた。駅前だけ活性化するのではなく、このような視点も重要になると考えている。
- ・（委員E）市民の意見でも駅前・駅近などの意見も一定出ているので、駅前の北口公園で駅前直結などが想定されるが、せっかく駅前でするのであれば、ホールのみではない複合施設のような形で進めるなども考えられる。加えて、市役所も老朽化しているので、市役所の機能もこの場所に持ってきて大きな施設にするなどまで発展的に考えることもできる。ホールに限らず市役所・テナント運営・上部をマンションにしてデベロッパーに出資させるなども考えられる。このようなことも並行で考えながらPFIなどの公民連携の検討も合わせて進めて行くことも重要と考える。
- ・（委員J）駅近辺は迷惑駐車などの問題もあり、三段池公園などを想定していたが、駅近辺の商業施設の駐車場をタイムズにして、有料にすれば、駅近辺にホールがあっても良いかもしれないと思った。少し違う話になるかもしれないが、先日コンサートを主催した際に三段池公園からシャトルバスを出したが、利用者はほとんどおらず、皆さんタクシーや乗り合わせなどの工夫をして来ており、混乱は少なかった。このことも踏まえると駅前などが良いと考える。
- ・（委員C）福知山の街を知ってもらうにしても郊外よりは、市街の中で検討した方が良いと考えている。市民体育館のテニスコートあたりが良いのではと考えている。高校生・大学生が自転車でも来ることができる場所が良いと考える。
- ・（委員E）駅北公園 2988 m²と書いているが、ロータリーも一体的に使えるのか、ロータリーも含めて検討すると面積を確保できるのではと考える。
- ・（事務局）北口公園として財産上取り扱われているのは、資料に記載されている範囲である。用途は分かれているので、車が入るロータリー部分とその他の空間の部分は、当時は分けていたと考えている。
- ・（委員E）その内容を踏まえると、ロータリー部分は残し、ロータリー上部の空間を北口公園のホールへ繋げると空間を広く使える。
- ・（委員H）実現性は不透明な部分があるが、もし可能であれば、厚生会館用地に建設し、隣接する民間事業者の土地をお借りして敷地を広くするのが良いと考える。そのような形にできれば、周遊などの目線でも良いのではないかと。
- ・（委員A）隣接する民間事業者の土地については現在どのような状況になっているのか事務局にお聞きしたい。
- ・（事務局）再検討に入っている旨については、隣接する民間事業者や隣接の地権者にも共有している。現状では候補地が決まっていないので、相手方が気にされている部分の状況報告程度であ

る。

- ・（委員Ｊ）御霊公園にホールを建設して、厚生会館用地を駐車場にするなどは可能性としてあるのか。
- ・（事務局）御霊公園は都市公園として皆様に活用いただいているので、その部分の問題はある。また、周辺道路などに下水の管があるように、御霊公園にも下水管が埋設されているので、単純な空き地利用とは状況が異なることにご留意いただきたい。
- ・（委員Ｇ）厚生会館用地は近隣に民家も多く、厚生会館用地に建設したホールを避難場所として活用するなど想定される。新たに避難場所を建設するのは厳しいこととも考えると、厚生会館用地を活用するのが良いと考える。
- ・（委員Ｉ）若い方が多く使える場所が良いと考える。駅近くの市民交流プラザを学生が勉強などで利用していることから、駅北口公園の案なら学生がついでに立ち寄り、ホール内の展示を見たりできるように感じる。加えて駅の近くであれば、バスや電車を待っている人も使いやすいのではないかと。学生らがホールを目当てに自転車わざわざ遠くに行くよりは、多く利用されるイメージも湧く部分ではある。活用に向けては色々な問題などもあると思うが、現段階は駅北口公園を想定している。
- ・（委員Ｂ）駐車場の問題や交通の問題は重要になると考える。自身の経験上でも、駐車場を確保するために開演よりも早めに移動する事などは負担感もあるので、自分の都合がよいタイミングで移動ができるように駐車場が広くとれる場所が良いと考える。
- ・（委員Ｄ）駅前でも良いが、駅を日常的に利用しない人にとっては、駐車場があることも重要である。実現性などは不明であるが、駅南にある駅と金融機関の間の駐車場なども想定されるのではと考えている。
- ・（委員Ａ）まちづくりの観点で見ると、駅前に作ると人の流れが駅前で止まってしまうので、人が行き交う回廊のような形にできるとよいと考えている。実現性はさておき、議会にて意見が出たホームセンターがある土地なども検討の候補に挙げても良いのではと考えている。
- ・（委員Ｇ）これからの都市・地方のあり方は、利便性の良さも重要だが、駅前のみに施設が集中した金太郎飴のようなまちづくりではなく、福知山らしさに触れられるまちづくりが重要なのではと考える。
- ・（委員Ｅ）回遊性を考える場合、市役所にホールを複合化すれば、駅からホール、お城への人の流れもできると感じた。
- ・（委員Ｈ）ホールの赤字黒字の話があるが、自分のような文化に関わる仕事をしている者にとってはホールが赤字なのは当たり前である。文化は儲けるためにするものではなく、心を豊かにするためにあるからこそ、公共事業として実施するのである。
- ・（生田アドバイザー）新しいホールを検討するにあたり、ホールが街に収まるのではなく、ホールが新しいことを生み出す形での検討にできるとよいと考える。名古屋市の愛知県芸術劇場は駅直結のため、すぐに駅に着いてしまう。コンサートを楽しんだ後にいきなり駅の人込みに戻ると、余韻に浸る時間も無くなってしまう。コンサート後に余韻に浸れるゆっくり歩ける時間があると、道中の商店街に寄ってお酒を飲むことも考えられるし、コンサート前にコーヒーを飲むことなども考えられるので、そのように

街へ良い影響を与えるハブとする機能をホールに持たせることも重要と考える。そのためには、どのような魅力的なコンテンツを提供していくのかも重要になると考える。規模の話に戻ると、長久手市文化の家では、800 席もの規模でホールを使用する機会がほとんどなく、当初想定 of 最大 800 席から 700 席に減らして運営しているが、大きな問題は発生していない。建設の際に専門家が関与していたこともあり、700 席規模でもサスが 4 本、バトンは 30 本あるなどプロ仕様の舞台機構が備わっており、加えて搬入口からフラットのまま舞台に入って搬入出ができる様に熟考された動線となっている。このように長久手市の場合は検討の段階で専門家が入ってプロ仕様にするのが実現できているので、そのようなことも今後は考えていく必要があると考える。

- ・（委員 G）ホールをハブとすることで街の良さを知って欲しいと考えている。そのために歩いて色々な良さに触れてほしい。福知山は何もないと言われるが良さを知らない部分が多いと考える。
- ・（委員 E）ゼネコンや運営管理のプロなどが検討に参入する時期はどの段階か、PFI などの検討もこの再検討委員会の中で整理していくのか。
- ・（委員 A）その部分なども含めて次回以降に検討していくことになるかと考える。
- ・（委員 J）若い世代が多く使うことになるかと考えるが、その人たちが手狭で窮屈に感じるホールにはしたくないと考えている。小さく建てるなども理解できるが、小さい中でも多機能で良いホールが建てられるような検討も必要になってくると考える。
- ・（委員長）今後の再検討委員会の回数を増やすなども想定されるが、その部分について、事務局はどう考えているか。
- ・（事務局）来年度の予算がまだ決まっていない状況で確定的なことは言えないが、事務局の希望としては、時間をかけて検討していただけるようにしたいと考えている。

以上